

## [007] 総合文化学論輯表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1955364>

---

出版情報：総合文化学論輯. 7, 2017-11-01. Japan Institute for Comprehensive Cultural Studies  
バージョン：  
権利関係：

## 総合文化学会活動記録 2017.5.1—2017.11.1

『総合文化学論輯』(ISSN 2189-0986)第6号刊行 2017.5.1

### 第10回総合文化学会

日時：2017年8月25日(金) 午前10時～午前11時45分

場所：福岡市男女共同参画センターアミカス研修室B

(Phone: 092-526-3755)

(西鉄大牟田線高宮駅改札口左に出てそのまま歩道橋を右隣のビルへ)

1. ご挨拶・ご連絡
2. 口頭発表

発表者：荒木文果(慶應義塾大学専任講師・美術史・イタリア美術)

発表タイトル：「ドメニコ修道会における祈禱法について」

発表要旨：

本発表は、15世紀にローマとフィレンツェのドメニコ会修道院に描かれたフレスコ画を取り上げ、祈禱と美術の関連性について論じるものである。考察の核となるのは、ローマのサンタ・マリア・ソプラ・ミネルヴァ修道院第一廻廊に描かれていたフレスコ画である。現在すべて消失した本壁画については、関連する写本や印刷本からある程度その図像を知ることができる。特に注目したいのは、34場面からなる各区画の下部に、瞑想する修道士が描かれていた事実である。発表では、この修道士たちの身振りに関する記述を丁寧に読み解き、フラ・アンジェリコと助手たちが制作したフィレンツェ、サン・マルコ修道院僧房に描かれている瞑想する聖人たちの表現と比較することで、当時ドメニコ修道会が祈禱の場において、どのように美術作品を活用したかについて明らかにする。

### 第11回総合文化学会

日時：2017年9月24日(日) 午前10時～午前11時45分

場所：福岡市男女共同参画センターアミカス研修室D

(Phone: 092-526-3755)

(西鉄大牟田線高宮駅改札口左に出てそのまま歩道橋を右隣のビルへ)

1. ご挨拶・ご連絡
2. 口頭発表

発表者：

佐藤慶治(九州大学比較社会文化研究院特別研究者・博士【比較社会文化】

・音楽教育学、比較文化論)

発表タイトル：NHK音楽番組「みんなのうた」における童謡・唱歌—1960・70年代を中心に

発表要旨：

現代日本の音楽文化はテレビを通じて形成された部分が多い。NHKが1961年より現在まで放送している音楽番組「みんなのうた」でも、これまでに1400曲以上の楽曲が放送さ

れ、《大きな古時計》や《山口さんちのツトム君》等のヒット曲が生まれた。現在の同番組では番組のために作られたオリジナル楽曲が主流であるが、放送初期の1960～70年代においては《赤とんぼ》のような戦前の童謡・唱歌や、《今日の日はさようなら》のような戦後日本のヒット曲がカバーで放送されることも多く、「みんなのうた」は戦前・戦後を通じた日本音楽文化の反映とも見なせる。本研究では、「みんなのうた」の番組史における童謡・唱歌楽曲の位置づけと、その意義について考察を行いたい。

『総合文化学論輯』(ISSN 2189-0986)第7号刊行 2017.11.1